

先端医療バイオロボティクス学寄附講座

HOME
講座概要
研究者紹介
研究内容
あゆみ
先端医療バイオロボティクス研究会
肝再生医療の相談受付
アクセス
リンク

あゆみ

[学会発表・講演等]
 [原著論文・著書・総説等]
 [科学研究費交付実績]
 [特許等知的財産]
 [新聞記事掲載・記者発表・報道]

[学会発表・講演等]

【2010年】

1. Yoshitaka MIYAMOTO, Yumie KOSHIDAKA, Hiroaki SAITO, Yukimasa KAGAMI, Katsutoshi Murase, Noritada KAJI, Hiroshi YUKAWA, Hirofumi NOGUCHI, Hisashi IWATA, Yoshinobu BABA, and Shuji HAYASHI. Toxicity and functional assessment with polysaccharide-based magnetic iron oxide nanoparticles for cell labeling in vivo/in vitro. 240th ACS National Meeting & Exposition, Boston, 2010/8/22-26
2. Miyamoto Y, Ueno H, Hokari R, Yuan W, Kuno S, Kakimoto T, Enosawa S, Yoshinaka K, Matsumoto Y, Chiba T, Hayashi S. Ultrasound-assisted gene transfer to adipose tissue-derived stem/progenitor cells (ASCs). 10th International Symposium on Therapeutic Ultrasound (ISTU10), Tokyo Japan, 2010/6/9-12
3. M. Watanabe, H. Yukawa, Y. Kagami, N. Kaji, Y. Okamoto, Y. Miyamoto, H. Noguchi, M. Tokeshi, S. Hayashi, Y. Baba. in vivo Imaging of Stem Cells using Quantum Dots for Stem Cell Therapy. Lorentz Center Workshop. 2010/1/18-22
4. 湯川 博、宮本義孝、池内真志、生田幸士、林 衆治. 3次元マイクロデバイスを用いた胚性幹細胞からの幹細胞分化誘導. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関, 2010/7/14-16
5. 宮本義孝, 腰高由美恵, 齋藤弘明, 鏡味幸真, 村瀬勝俊, 加地範匡, 湯川博, 野口洋文, 岩田久, 馬場嘉信, 林衆治. MRI造影用磁性ナノ粒子の開発と肝毒性評価. 第65回日本消化器外科学会総会, 下関, 2010/7/14-16
6. 宮本義孝、先端医療：移植・再生から人工臓器まで、名古屋大学・NHK文化センター提携 大河講座「ひとの大学」人の巻「われわれはどこへ行くのか」 2010/6/9
7. 宮本義孝, 腰高 由美恵, 齋藤 弘明, 鏡味 幸真, 村瀬 勝俊, 加地範匡, 湯川 博, 野口 洋文, 岩田 久, 馬場 嘉信, 林 衆治. 細胞標識用MRI造影剤の毒性評価. 第59回高分子学会年次大会, 横浜, 2010/5/26-28
8. 湯川 博, 藤田理緒, 宮本義孝, 齋藤弘明, 村瀬勝俊, 野口洋文, 林 衆治. 新規磁性ナノ粒子を用いた量子ドットの細胞内導入とダブルイメージングへの応用. 第5回日本分子イメージング学会総会・学術集会, 大津, 2010/5/22-23
9. 湯川 博, 渡辺将生, 鏡味幸真, 宮本義孝, 加地範匡, 渡慶次学, 野口洋文, 馬場嘉信, 林 衆治. 幹細胞治療に対する量子ドットを用いたin vivo イメージング. 第5回日本分子イメージング学会総会・学術集会, 大津, 2010/5/22-23
10. 林 衆治, 財団の概要と展望—先端医療実用化拠点構想—, 先端医療ヘルスケア推進財団設立名古屋フォーラム, 名古屋, 2010/5/22
11. 宮本義孝, 湯川博, 佐々木真宏, 野口洋文, 岩田久, 林衆治. 絹タンパク質セリシンの肝冷保存における有用性の検討. 第83回日本組織培養学会, 岡山, 2010/5/20-21
12. 渡辺将生, 湯川 博, 鏡味幸真, 加地範匡, 宮本義孝, 岡本行広, 渡慶次学, 林 衆治, 馬場嘉信. 量子ドットによる細胞移植後の幹細胞イメージング. ナノ学会第8回大会, 岡崎, 2010/5/13-15
13. 宮本義孝, 湯川博, 大石幸一, 野口洋文, 林衆治. 絹タンパク質セリシンを用いた肝冷保存. 第110回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2010/4/8-10
14. 林 衆治, 先端医療実用化拠点設立構想—現状と展望—, 先端医療ヘルスケア推進財団設立東京フォーラム, 東京, 2010/4/3
15. 鏡味幸真, 湯川 博, 加地範匡, 岡本行広, 野口洋文, 渡慶次学, 林 衆治, 馬場嘉信, 脂肪組織由来幹細胞の生体内イメージングに向けた量子ドットの応用, 日本化学会第90春季年会, 大阪, 2010/3/26-29
16. 渡辺将生, 湯川 博, 加地範匡, 宮本義孝, 岡本行広, 渡慶次学, 林 衆治, 馬場嘉信, 量子ドットを用いた脂肪組織由来幹細胞のin vivo イメージング, 日本化学会第90春季年会, 大阪, 2010/3/26-29
17. 宮本義孝, 腰高由美恵, 湯川博, 野口洋文, 岩田久, 小林護, 加茂功, 桜川宣男, 林衆治. ヒト可溶性羊膜(HSAP)の脂肪組織由来幹細胞への影響. 第9回日本再生医療学会総会, 広島, 2010/3/18-19
18. 宮本義孝, 腰高由美恵, 村瀬勝俊, 加地範匡, 湯川博, 野口洋文, 岩田久, 馬場嘉信, 林衆治. 再生・移植医療のための新規磁性ナノ粒子の毒性評価. 第9回日本再生医療学会総会, 広島, 2010/3/18-19
19. 湯川博, 藤田理緒, 木下貴史, 宮本義孝, 野口洋文, 井上誠, 長谷川護, 林衆治. 膝幹細胞へのセンダイウイルスベクターによる3因子遺伝子導入の有用性. 第9回日本再生医療学会総会, 広島, 2010/3/18-19
20. 湯川博, 宮本義孝, 齋藤弘明, 村瀬勝俊, 野口洋文, 林衆治. 新規磁性ナノ粒子を用いた量子ドットの細胞内導入とダブルイメージングへの応用. 第9回日本再生医療学会総会, 広島, 2010/3/18-19

【2009年】

21. Miyamoto, Y.; Oishi, K.; Yukawa, H.; Noguchi, H.; Sasaki, M.; Iwata, H.; Hayashi, S. Refreezing on Human Adipose Tissue-Derived Stem/Progenitor Cell by Supplementation of Silk Protein Sericin in the Freezing Medium. 238th ACS National Meeting & Exposition, Washington, DC, USA, 2009/8/16-20
22. Miyamoto, Y.; Oishi, K.; Yukawa, H.; Noguchi, H.; Sasaki, M.; Iwata, H.; Hayashi, S. Cryopreservation of human adipose tissue-derived stem/progenitor cells using the silk protein sericin. Cryo2009 46th Annual Meeting of the Society for Cryobiology. Sapporo, Japan, 2009/7/19-23
23. Miyamoto Y, Oishi K, Yukawa H, Noguchi H, Sasaki M, Iwata H, Hayashi S, The Effect of Refreezing on Human Adipose Tissue-Derived Stem/Progenitor Cell Functions, CTS – JSOPMB Joint Conference (The Okayama 2009 Joint Conference brings together two Meeting of CTS-Cell Transplant Society JSOPMB-Japan Society for Organ Preservation and Medical Biology), Okayama, 2009/4/20-21
24. Miyamoto Y, Hayashi S. Cryopreservation of primary hepatocytes: combination approach with polyethylene glycol and oligosaccharides. The 36th Annual Meeting of the Japan Society for Low Temperature Medicine. Tokyo, Japan 11/27-29, 2009
25. 宮本義孝, 金季利, 上野瞳, 林衆治, 千葉敏雄. 脂肪組織由来幹細胞を用いた超音波遺伝子導入法の検討. 第32回日本分子生物学会年会. 横浜, 2009/12/9-12
26. 宮本義孝, 腰高由美恵, 湯川博, 野口洋文, 岩田久, 小林護, 加茂功, 桜川宣男, 林衆治. ヒト可溶性羊膜(HSAP)を用いた脂肪組織由来幹細胞の培養と機能評価. 第32回日本分子生物学会年会. 横浜, 2009/12/9-12
27. 湯川博, 渡辺将生, 鏡味幸真, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. 量子ドットを用いた幹細胞イメージング. 第18回日本コンピュータ外科学会大会, 東京, 2009/11/21-23
28. 宮本義孝, 林衆治. 肝細胞保存液としての保護剤の検討, 第61回日本生物工学会大会, 名古屋, 2009/9/23-25
29. 宮本義孝, 湯川博, 大石幸一, 野口洋文, 佐々木真宏, 岩田久, 林衆治. 絹タンパク質セリシンを用いたヒト脂肪組織由来幹細胞の凍結保存, 第45回日本移植学会総会, 東京, 2009/9/16-18
30. 湯川博, 鏡味幸真, 渡辺将生, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. 量子ドットを用いた幹細胞イメージング, 第45回日本移植学会総会, 東京, 2009/9/16-18
31. 湯川博, 野口洋文, 大石幸一, 宮本義孝, 池内真志, 鏡味幸真, 井上誠, 長谷川護, 加地範匡, 生田幸士, 馬場嘉信, 林衆治. 肝・膵再生療法とその実現に向けた周辺技術, 第64回日本消化器外科学会, 大阪, 2009/7/16-17
32. 湯川博, 大石幸一, 野口洋文, 齋藤弘明, 宮本義孝, 村瀬勝俊, 林衆治. 膵島移植のためのMRI画像診断に向けた新規磁性ナノ粒子の開発, 第52回日本糖尿病学会総会, 大阪, 2009/5/21-24
33. 宮本義孝, 林衆治. 肝実質細胞凍結保存における保護剤の効果, 日本組織培養学会第82回大会, 栃木, 2009/5/18-19
34. 湯川博, 渡辺将生, 鏡味幸真, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. 量子ドットを用いた幹細胞イメージング, 第4回日本分子イメージング学会, 東京, 2009/5/14-15
35. 池内真志, 大石幸一, 野口洋文, 宮本義孝, 林衆治, 生田幸士. 膵島クラスター培養用パターンニングデバイスの開発, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 2009/4/23-25
36. 宮本義孝, 湯川博, 大石幸一, 野口洋文, 林衆治. 空間制御法による三次元組織体の機能再構築と再生・移植医療への新展開, 第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009/4/2-4
37. 湯川博, 野口洋文, 大石幸一, 宮本義孝, 池内真志, 鏡味幸真, 井上誠, 長谷川護, 加地範匡, 生田幸士, 馬場嘉信, 林衆治. 肝・膵再生療法とその実現に向けた周辺技術の開発, 第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009/4/2-4
38. 鏡味幸真, 湯川博, 渡辺将生, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. ASCSに対するQDSを用いたイメージング技術の検討, 第89回日本化学会春季大学, 千葉, 2009/3/27-3/30
39. 池内真志, 大石幸一, 宮本義孝, 野口洋文, 林衆治, 生田幸士. 膵幹細胞クラスター培養デバイスの開発, 第3回バイオ・ナノテクノフォーラムシンポジウム, 東京, 2009/3/12
40. 野口洋文, 大石幸一, 齋藤弘明, 湯川博, 宮本義孝, 村瀬勝俊, 林衆治. 移植膵島イメージングのための新規磁性ナノ粒子の開発, 第8回日本再生医療学会総会, 東京, 2009/3/5-6
41. 宮本義孝, 湯川博, 大石幸一, 野口洋文, 林衆治. 生分解性ポリマーを用いた細胞クラスターの構築, 第8回日本再生医療学会総会, 東京, 2009/3/5-6
42. 湯川博, 鏡味幸真, 渡辺将生, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. 量子ドットを用いた幹細胞イメージング, 第8回再生医療学会, 東京, 2009/3/5-6
43. 池内真志, 大石幸一, 野口洋文, 宮本義孝, 林衆治, 生田幸士. 膵島再生に向けたコンビナトリアルクラスター培養デバイス, 第8回再生医療学会, 東京, 2009/3/5-6

【2008年】

44. Kagami Y., Yukawa H., Kaji N., Okamoto Y., Noguchi H., Tokeshi M., Hayashi S., Baba Y. Quantum Dot Labeling of Adipose Tissue-derived Stem Cells for Long-term Cell Tracing In Vivo. IUMRS-ICA 2008 (The IUMRS International Conference in Asia 2008) Nagoya 2008/12/9-13
45. Miyamoto Y., Suzuki S., Takezawa T., Ikeya T., Hayashi S., Enosawa S. Improvement of Cryopreservation of Human and Rat Hepatocytes using Oligosaccharides and 3D Culture Matrix. The 35th Annual Meeting of the Japan Society for Low Temperature Medicine Tokyo 2008/11/21-23
46. Kagami Y., Yukawa H., Kaji N., Okamoto Y., Noguchi H., Hayashi S., Tokeshi M., Baba Y. Quantum Dot Labeling of Adipose Tissue-derived Stem Cells for Long-term Cell Tracing In Vivo. 4th Annual Symposium of the American Academy of Nanomedicine Maryland 2008/9/4-7
47. 岩田久, 永津俊治, 林衆治, 吉田松年, 三宅養三, 四方義啓, 小林達也, 横田和憲, 阿部聡, 鈴木敦詞, 山村恵子, 林依里子, 坂野和央. 特定非営利活動法人治験審査委員会(外部IRB)の構築と現状. 第29回日本臨床薬理学会年会. 東京. 2008/12/4-6
48. 湯川博, 野口洋文, 大石幸一, 宮本義孝, 池内真志, 鏡味幸真, 井上誠, 長谷川護, 加地範匡, 生田幸士, 馬場嘉信, 林衆治. 肝・膵再生療法とその実現に向けた周辺技術の開発. 第70回日本臨床外科学会総会. 東京. 2008/11/27-29
49. 宮本義孝, 鈴木聡, 寺本直純, 佐々木真宏, 林衆治, 絵野沢伸. 肝細胞凍結保存における保護剤の有効性. 第35回日本臓器保存生物医学学会. 東京. 2008/11/22-23
50. 湯川博, 野口洋文, 中瀬生彦, 宮本義孝, 大石幸一, 二木史朗, 林衆治. iPS細胞に対する蛋白導入ドメインの有効性比較. 第35回日本臓器保存生物医学学会. 東京. 2008/11/22-23
51. 湯川博, 鏡味幸真, 渡辺将生, 大石幸一, 宮本義孝, 加地範匡, 野口洋文, 馬場嘉信, 林衆治. 量子ドットを用いた幹細胞イメージング. 第35回日本臓器保存生物医学学会. 東京. 2008/11/22-23
52. 大石幸一, 野口洋文, 湯川博, 宮本義孝, 林衆治. 誘導多能性幹細胞における細胞凍結保存液の検

- 討 第35回日本臓器保存生物医学会 東京 2008/11/22-23
53. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、宮本義孝、井上 誠、長谷川 護、林 衆治 センダイウイルスベクターの遺伝子導入法の違いによるマウス臍幹細胞に対するGFP発現効率の比較検証 第35回日本臓器保存生物医学会 東京 2008/11/22-23
 54. 大石幸一、野口洋文、齋藤弘明、湯川 博、宮本義孝、村瀬勝 俊、林 衆治 in vivoイメージングのためのカチオン性磁性ナノ粒子の開発 第35回日本臓器保存生物医学会 東京 2008/11/22-23
 55. 池内真志、大石幸一、宮本義孝、野口洋文、林 衆治、生田幸士 幹細胞クラスター培養のための細胞パターンニングデバイスの開発 第17回日本コンピュータ外科学会大会 東京 2008/10/31-11/2
 56. 野口洋文、齋藤弘明、大石幸一、湯川 博、宮本義孝、村瀬勝 俊、林 衆治 移植細胞イメージングのための新規磁性ナノ粒子の開発 第44回日本移植学会総会 大阪 2008/9/19-21
 57. 宮本義孝、鈴木 聡、寺本直純、佐々木真宏、林 衆治、絵野沢 伸、絹タンパク質セリニン用いたヒト肝細胞の凍結保存、第44回日本移植学会総会、大阪、2008/9/19-21
 58. 湯川 博、池内真志、大石幸一、宮本義孝、野口洋文、井上 誠、長谷川護、生田幸士、林 衆治、付着状態と浮遊状態における遺伝子導入効率の拡散支配下での比較第44回日本移植学会総会、大阪、2008/9/19-21
 59. 湯川 博、鏡味幸真、水船翔悟、間森千春、大石幸一、宮本義孝、加地範匡、野口洋文、馬場嘉信、林 衆治、R8 peptideを用いた量子ドットの脂肪組織由来幹細胞への導入、第44回日本移植学会総会、大阪、2008/9/19-21
 60. 大石幸一、野口洋文、齋藤弘明、湯川 博、宮本義孝、村瀬勝 俊、林 衆治 臍島移植のための新規磁性ナノ粒子を用いたin vivoイメージング法の検討 第44回日本移植学会総会、大阪、2008/9/19-21
 61. 林 衆治 第63回 日本消化器外科学会、座長 北海道 2008/7/16-18
 62. 林 衆治 体性幹細胞を用いた肝臓臓器再生医療法の開発 第7回国際バイオEXPO 東京2008/7/2-4
 63. 湯川 博、水船翔悟、間森千春、鏡味幸真、大石幸一、加地範 匡、野口洋文、馬場嘉信、林 衆治、移植細胞イメージングを目指した量子ドットの脂肪組織由来幹細胞への応用 第3回日本分子イメージング学会、埼玉、2008/5/22-23
 64. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、井上 誠、長谷川護、林 衆治、遺伝子導入による修飾体性幹細胞を用いた肝硬変治療効果の解析、第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/5/15-17
 65. 湯川 博、水船翔悟、間森千春、鏡味幸真、大石幸一、加地範 匡、野口洋文、馬場嘉信、林 衆治、肝機能不全に向けた死亡組織由来細胞における量子ドットを用いたイメージング法の検討 第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/5/15-17
 66. 林 衆治、高木惣一、湯川 博、大石幸一、高嶋一登、中島、向 井利春、内視鏡手術支援ロボットと周辺技術の開発、第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/5/15-17
 67. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、井上 誠、長谷川護、林 衆治、センダイウイルスベクターによるbFGF遺伝子導入骨髄細胞を用いた肝硬変治療とそのメカニズムの解析、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 68. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、井上 誠、長谷川護、林 衆治、センダイウイルスベクターによるbFGF遺伝子導入脂肪組織由来幹細胞を用いた肝硬変治療の検討、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 69. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、林 衆治、肝不全マウスへの脂肪組織由来幹細胞(ASCs)-ヘパリン同時移植による肝再生療法の検討、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 70. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、井上 誠、長谷川 護、林 衆治、センダイウイルスベクターの遺伝子導入法の違いによる脂肪組織由来幹細胞に対するGFP発現効率の比較検証、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 71. 湯川 博、水船翔悟、間森千春、大石幸一、高木惣一、加地範 匡、野口洋文、馬場嘉信、林 衆治、移植細胞イメージングを目指した量子ドットの脂肪組織由来幹細胞への導入、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 72. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、高木惣一、林 衆治、Mouse pancreatic stem cellに対するセンダイウイルスベクター遺伝子導入効率の検証、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14
 73. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、高木惣一、林 衆治、Somatic stem cellの多分化能の検討、第7回日本再生医療学会、名古屋、2008/3/13-14

【2007年】

74. 高嶋一登、中島弘道、向井利春、林 衆治、内視鏡手術アシストロボットの開発、第8回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会、広島、2007/12
75. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、井上 誠、長谷川護、林 衆治、bFGF遺伝子を組み込んだセンダイウイルスベクターを用いた骨髄細胞による慢性肝不全マウスへの治療効果、第30回日本分子生物学会年会、横浜、2007/12/11-15
76. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、林 衆治、センダイウイルスベクターによるbFGF遺伝子導入骨髄細胞を用いた肝再生療法の前臨床試験：マウス肝硬変モデルを用いた検討、第69回日本臨床外科学会総会、横浜、2007/11/29-12/1
77. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、林 衆治、肝不全マウスへの脂肪組織由来幹細胞(ASCs)-ヘパリン同時移植による肝再生療法の検討、第69回日本臨床外科学会総会、横浜、2007/11/29-12/1
78. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、林 衆治、脂肪組織由来肝細胞(ASCs)による急性肝不全マウスに対する肝再生療法の検討、第43回日本移植学会総会、仙台、2007/11/22-24
79. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、井上 誠、長谷川 護、林 衆治、bFGF遺伝子搭載センダイウイルスベクターによる修飾骨髄細胞を用いた肝硬変マウスの治療効果、第43回日本移植学会総会、仙台、2007/11/22-24
80. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、高木惣一、林 衆治、体性幹細胞の分化能の検討、第43回日本移植学会総会、仙台、2007/11/22-24
81. 野口洋文、湯川 博、上田路子、小林直哉、林 衆治、Marlon F. Levy1、松本慎一、マウス臍幹細胞の単離と蛋白導入法による分化誘導、第34回日本臓器保存生物医学会、北海道、2007/11/16-17
82. 野口洋文、上田路子、林 衆治、興津 輝、岩永康裕、永田英 生、小林直哉、松本慎一、臍島移植のための臍保存におけるウリナスタチンとメシル酸ナファモスタットの比較、第34回日本臓器保存生物医学会、北海道、2007/11/16-17
83. 高木惣一、湯川 博、大石幸一、井上 誠、長谷川護、林 衆治、bFGF遺伝子を導入した骨髄細胞による慢性肝不全マウスへの治療とそのメカニズムの解析、第34回日本臓器保存生物医学会、北海道、2007/11/16-17
84. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、井上 誠、長谷川 護、林 衆治、センダイウイルスベクターの遺伝子導入法の違いによる脂肪組織由来幹細胞に対するGFP発現効率の比較検証、第34回日本臓器保存生

- 物医学会, 北海道, 2007/11/16-17
85. 湯川 博、野口洋文、大石幸一、高木惣一、林 衆治、脂肪組織由来肝細胞を用いた急性肝不全マウスに対する治療効果, 第34回日本臓器保存生物医学会, 北海道, 2007/11/16-17
 86. 湯川 博、水船翔悟、間森千春、大石幸一、高木惣一、加地範匡、野口洋文、馬場嘉信、林 衆治、移植細胞イメージングを目指した量子ドットの脂肪組織由来幹細胞への応用, 第34回日本臓器保存生物医学会, 北海道, 2007/11/16-17
 87. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、高木惣一、井上 誠、長谷川謙、林 衆治、マウス臍幹細胞に対するセンダイウイルスベクターを用いたGFP遺伝子発現効率の検証, 第34回日本臓器保存生物医学会, 北海道, 2007/11/16-17
 88. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、高木惣一、林 衆治、脂肪組織由来幹細胞および臍幹細胞の多分化能の検討, 第34回日本臓器保存生物医学会, 北海道, 2007/11/16-17
 89. 向井利春、林 衆治、岩田 久、四方義啓、内視鏡手術支援ロボットと周辺技術, 中経連テクノフェア2007, 名古屋, 2007/10/11
 90. 高嶋一登、向井利春、林 衆治、内視鏡手術アシストロボット, ロボットビジネスフォーラム in Greater Nagoya, 名古屋, 2007/9/11-12
 91. 林 衆治、座長, 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007/7/18-20
 92. 林 衆治、湯川 博、大石幸一、夏目美和、野口洋文、井上 誠、長谷川謙、高木惣一、bFGF遺伝子搭載センダイウイルスベクターを用いた修飾骨髄細胞による肝硬変マウス治療効果, 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007/7/18-20
 93. 林 衆治、肝硬変の新しい治療法～肝細胞の再生医療～, 愛知県肝友会第26回 定時総会及び記念講演, 名古屋, 2007/7/1
 94. 林 衆治、医療用ロボットと再生医療について, 株式会社日立製作所講演, 埼玉, 2007/6/25
 95. 林 衆治、先端医療の現在と未来, 第17回 日本臨床工学会, 名古屋, 2007/5/12
 96. 林 衆治、野口洋文、湯川 博、大石幸一、鈴木正洋、骨髄幹細胞を用いた肝不全患者に対する肝再生療法の研究, 第107回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2007/4/11-12
 97. 野口洋文、湯川 博、大石幸一、林 衆治、1型糖尿病治療の新しい戦略—再生 膵島移植を目指した分化誘導法の確立—, 第107回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2007/4/11-12
 98. 湯川 博、鈴木正洋、大石幸一、野口洋文、林 衆治、脂肪組織由来肝細胞を用いた肝不全に対する肝再生療法の検討, 第107回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2007/4/11-12
 99. 林 衆治、湯川 博、大石幸一、夏目美和、野口洋文、井上誠、長谷川謙、bFGF遺伝子搭載センダイウイルスベクターを用いた修飾骨髄細胞による肝硬変マウス治療の前臨床研究, 第6回日本再生医療学会, 横浜, 2007/3/13-14
 100. 湯川 博、大石幸一、野口洋文、林 衆治、脂肪組織由来幹細胞(ASCs)を用いた肝再生療法の検討, 第6回日本再生医療学会, 横浜, 2007/3/13-14
 101. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、林 衆治、Adipose tissue-derived stem cellにおける凍結保存法の検討, 第6回日本再生医療学会, 横浜, 2007/3/13-14

【2006年】

102. Hirofumi Noguchi, Application of protein transduction technology to islet transplantation and regeneration., Membrane-permeable peptides: Chemistry, biology and therapeutic applications, Kyoto, 2006/11/10-11
103. Noguchi H., Okitsu T., Iwanaga Y., Nagata H., Yonekawa Y., Hayashi S., Matsumoto S., Ductal injection of preservation solution increases islet yields in islet isolation and improves islet graft function., World Transplant Congress 2006, Boston 2006/7/22-27
104. Noguchi H., Yamada Y., Iwanaga Y., Okitsu T., Nagata H., Yonekawa Y., Hayashi S., Matsumoto S., Evaluation of islet transplantation from non-heart-beating donors by b-score and novel index., World Transplant Congress 2006, Boston, 2006/7/22-27
105. Hirofumi Noguchi, Induction of Pancreatic Stem/Progenitor Cells into Insulin-Producing Cells by Protein Transduction System., 4th Catholic International Stem Cell Symposium, Seoul, 2006/7/14
106. 野口洋文, 日本の膵島移植-現状と展望, DM-VOX, 大阪, 2006/12/9
107. 野口洋文、興津 輝、岩永康裕、永田英生、林 衆治、松本慎一、膵島移植のための膵保存におけるトリプシンインヒビターの効果, 第33回日本臓器移植保存生物医学会総会, 東京, 2006/11/23-24
108. 野口洋文、興津 輝、岩永康裕、永田英生、林 衆治、松本慎一、M-CustodiolおよびM-Kyoto溶液を用いた膵保存後の膵島分離成績の比較, 第33回日本臓器移植保存生物医学会総会, 東京, 2006/11/23-24
109. 上田路子、野口洋文、松本慎一、林 衆治、PDX-1タンパク導入におけるヘパリン硫酸プロテオグリカンの関与, 第33回日本臓器移植保存生物医学会総会, 東京, 2006/11/23-24
110. 湯川 博、鈴木正洋、大石幸一、野口洋文、井上 誠、林 衆治、脂肪組織由来幹細胞に対するセンダイウイルスベクターを用いたGFP遺伝子発現効率の検証, 第33回日本臓器移植保存生物医学会総会, 東京, 2006/11/23-24
111. 大石幸一、野口洋文、湯川 博、林 衆治、脂肪組織由来幹細胞における細胞凍結保存液の検討, 第33回日本臓器移植保存生物医学会総会, 東京, 2006/11/23-24
112. 野口洋文, タンパク導入の基礎から臨床まで, 第10回 福岡腎移植セミナー, 福岡, 2006/11/4
113. 野口洋文, 膵島移植と膵再生療法について, 金沢大学講演, 石川, 2006/10/13
114. 野口洋文, 先端医療への挑戦, 英数学館講演会, 広島, 2006/9/16
115. 野口洋文, 蛋白導入システムの膵島移植・再生療法への応用, 群馬大学講演会, 群馬, 2006/9/15
116. 野口洋文、興津 輝、岩永康裕、永田英生、米川幸秀、松本慎一、心停止ドナー膵島移植症例8例の検討, 第42回日本移植学会総会, 千葉, 2006/9/7-9
117. 野口洋文、興津 輝、岩永康裕、米川幸秀、永田英生、上田路子、松本慎一、マウス膵組織からの幹細胞の樹立, 第42回日本移植学会総会, 千葉, 2006/9/7-9
118. 野口洋文、中井勇介、上田路子、興津 輝、岩永康裕、永田英生、米川幸秀、松本慎一、膵島移植直後JNK活性化の抑制による膵島移植成績の向上, 第42回日本移植学会総会, 千葉, 2006/9/7-9
119. 野口洋文、松本慎一、興津輝、岩永康裕、米川幸秀、Liu Xiaoling、上田路子、永田英生、生体ドナー膵島移植のインスリン依存状態糖尿病に対する効果, 第42回日本移植学会総会, 千葉, 2006/9/7-9
120. 林 衆治 座長 第61回 日本消化器外科学会 横浜 2006/7/13-15
121. 野口洋文、松本慎一、永田英生、Susan Bonner-Weir、Gordon Weir、膵炎治療としての膵島自家移植の経験, 第61回 日本消化器外科学会定期学術総会, 横浜, 2006/7/13-15
122. 野口洋文、山田祐一郎、興津 輝、岩永康裕、永田英生、米川幸秀、松本慎一、心停止ドナー膵島移植症例6例の検討, 第49回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京, 2006/5/24-27
123. 野口洋文, 心停止ドナーからの膵島移植症例6例の検討, 第18回 日本肝胆膵外科関連会議, 東京, 2006/5

124. 野口洋文, 膵島細胞の再生研究と医療への展開, 先端医療バイオロボティクス学講演会, 愛知, 2006/5/9
125. 野口洋文, 細胞プロセッシングの現状と問題点, 先端医療バイオロボティクス学講演会, 愛知, 2006/4/26
126. 野口洋文, 膵島細胞移植の現状と展望, 先端医療バイオロボティクス学講演会, 愛知, 2006/4/11
127. 野口洋文, 興津 輝, 岩永康裕, 永田英生, 米川幸秀, 松本慎一, 心 停止ドナーからの膵島移植症例7例の検討, 第106回日本外科学会総会, 東京, 2006/3/29-31
128. 野口洋文, 興津 輝, 岩永康裕, 永田英生, 米川幸秀, 松本慎一, ペプチドによる膵島保護, 第33回 膵・膵島移植研究会, 千葉, 2006/3/17-20
129. 野口洋文, 興津 輝, 岩永康裕, 永田英生, 米川幸秀, 松本慎一, 改変二層法 (M-Kyoto/PFC) 保存による膵島分離成績の向上, 第33回膵・膵島移植研究会, 千葉, 2006/3/17-20
130. 野口洋文, 興津 輝, 岩永康裕, 永田英生, 米川幸秀, 上田路子, 松本慎一, 膵組 織特異的幹細胞の樹立, 第5回日本再生医療学会総会, 岡山, 2006/3/8-9
131. 野口洋文, 永田英生, 岩永康裕, 興津 輝, 米川幸秀, Susan Bonner-Weir, 松本慎一, NeuroD蛋白導入システムによる膵β細胞への分化誘導とそのメカニズム, 第5回日本再生医療学会総会, 岡山, 2006/3/8-9
132. 野口洋文, 興津 輝, 岩永康裕, 永田英生, 米川幸秀, 上田路子, 松本慎一, 膵島 分離時におけるc-Jun NH2-terminalkinase活性化, 第5回日本再生医療学会総会, 岡山, 2006/3/8-9
133. 野口洋文, 膵β細胞移植の最新知見, 第40回糖尿病学の進歩, 石川, 2006/2/17-18
134. 野口洋文, 1型糖尿病が治る時代がやってくるー膵島移植について, 第22回糖尿病セミナー, 神 奈川, 2006/2/5
135. 野口洋文, 1型糖尿病の治療としての膵島移植, 糖尿病臨床研究会, 神戸, 2006/1/12

原著論文・著書・総説等

【2010年】

1. 宮本義孝, 大石幸一, 湯川博, 野口洋文, 佐々木真宏, 岩田久, 林衆治. ヒト脂肪組織由来幹細胞における細胞凍結保存液の検討, 低温生物工学会誌, 2010;56(1), 55-58
2. Yukawa H, Kagami Y, Watanabe M, Oishi K, Miyamoto Y, Okamoto Y, Tokeshi M, Kaji N, Noguchi H, Ono K, Sawada M, Baba Y, Hamajima N, Hayashi S. Quantum dots labeling using octa-arginine peptides for imaging of adipose tissue-derived stem cells. *Biomaterials*, 2010; 31(14):4094-4103.

【2009年】

3. Noguchi H., Naziruddin B., Jackson A., Shimoda M., Ikemoto T., Fujita Y., Chujo D., Takita M., Kobayashi N., Onaca N., Hayashi S., Levy MF., Matsumoto S. Characterization of human pancreatic progenitor cells. *Cell Transplantation*, accept
4. Miyamoto Y., Oishi K., Yukawa H., Noguchi H., Sasaki M., Iwata H., Hayashi S. Cryopreservation of human adipose tissue-derived stem/progenitor cells using the silk protein sericin. *Cell Transplantation*, accept
5. Miyamoto Y., Teramoto N., Hayashi S., Enosawa S. An improvement in the attaching capability of cryopreserved human hepatocytes by a proteinaceous high molecule, Sericin, in the serum-free solution. *Cell Transplantation*, in press
6. Yukawa H., Noguchi H., Oishi K., Miyamoto Y., Nakase K., Futaki S., Hamaguchi M., Hamajima N., Hayashi S. Transduction of Cell-Penetrating Peptide into iPS Cells., *Cell Transplantation*, in press
7. Oishi K., Noguchi H., Yukawa H., Inoue M., Miyamoto Y., Iwata H., Hasegawa M., Hayashi S., Comparison of Sendai Virus-Mediated Gene Transfer Efficiency to Mouse Pancreatic Stem Cells in Adhesion and Floating State. *Cell Transplantation*, in press
8. Oishi K., Noguchi H., Saito H., Yukawa H., Miyamoto Y., Ono K., Murase K., Sawada M., Hayashi S. Novel positive charged nanoparticles for efficient magnetic resonance imaging of islet transplantation, *Cell Transplantation*, in press
9. Yukawa H., Mizufune S., Mamori C., Oishi K., Takagi S., Kaji N., Noguchi H., Hamaguchi M., Hamajima N., Hayashi S. Quantum dots for labeling adipose tissue-derived stem cells. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),591-599
10. Yukawa H., Noguchi H., Oishi K., Takagi S., Inoue M., Hasegawa Y., Hamaguchi M., Hamajima N., Hayashi S., Comparison of Sendai virus-mediated gene transfer efficiency to adhesive and floating adipose tissue-derived stem cells. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),601-609
11. Yukawa H., Noguchi H., Oishi K., Takagi S., Hamaguchi M., Hamajima N., Hayashi S. Cell transplantation of adipose tissue-derived stem cells in combination with heparin attenuated acute liver failure in mice. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),611-618
12. Oishi K., Noguchi H., Yukawa H., Takagi S., Hayashi S. Differential ability of somatic stem cells. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),581-589
13. Oishi K., Noguchi H., Yukawa H., Takagi S., Inoue M., Hasegawa Y., Hayashi S., Sendai virus-mediated gene transfer to mouse pancreatic stem cells. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),573-580
14. Noguchi H., Oishi K., Ueda M., Yukawa H., Hayashi S., Kobayashi N., Levy MF., Matsumoto S., Establishment of Mouse Pancreatic Stem Cell Line. *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),563-571
15. Noguchi H., Ueda M., Hayashi S., Kobayashi N., Okitsu T., Iwanaga Y., Nagata H., Liu X., Kamiya H., Levy MF., Matsumoto S., Comparison of trypsin inhibitors in preservation solution for islet isolation., *Cell Transplantation*, 2009;18(5-6),541-547
16. Hayashi S., Mizuno M., Yoshida J., Nakao A., Effect of sonoporation on cationic liposome-mediated IFNbeta gene therapy for metastatic hepatic tumors of murine colon cancer. *Cancer Gene Ther*, 2009;16(8), 638-643
17. 宮本義孝, 大石幸一, 湯川博, 野口洋文, 佐々木真宏, 岩田久, 林衆治. ヒト脂肪組織由来幹細胞における細胞凍結保存液の検討, 低温生物工学会誌, 2010;56(1), 55-58
18. 宮本義孝. 学会印象記「第8回日本再生医療学会」, *Organ Biology*, 2009;16(2), 271-273

【2008年】

19. 池内真志、大石幸一、宮本義孝、野口洋文、林 衆治、生田幸士、幹細胞クラスター培養のための細胞パターンニングデバイスの開発, J JSCAS, 2008, 10(3): 359-360
20. Noguchi H., Matsumoto S., Kobayashi N., Hayashi S., Iwanaga Y., Nagata H., Jackson A., Naziruddin B., Okitsu T., Levy MF., Effect of JNK inhibitor during islet isolation and transplantation., *Transplant Proc.*, 2008, 40(2):379-381
21. Noguchi H., Matsumoto S., Ueda M., Hayashi S., Kobayashi N., Jackson A., Naziruddin B., Levy MF., Method for isolation of mouse pancreatic stem cells., *Transplant Proc.*, 2008, 40(2):422-423
22. Oishi K., Noguchi H., Yukawa H., Miyazaki T., Kato R., Kitagawa Y., Ueda M., Hayashi S., Cryopreservation of Mouse Adipose Tissue-Derived Stem/Progenitor Cells., *Cell Transplant.*, 2008, 17:35-41
23. Yukawa H., Noguchi H., Oishi K., Miyazaki T., Kitagawa Y., Inoue M., Hasegawa M., Hayashi S., Recombinant Sendai virus-mediated gene transfer to adipose tissue-derived stem cells (ASCs), *Cell Transplant.*, 2008, 17:43-50
24. Noguchi H., Ueda M., Hayashi S., Kobayashi N., Okitsu T., Iwanaga Y., Nagata H., Nakai Y., Matsumoto S., Ductal injection of preservation solution increases islet yields in islet isolation and improves islet graft function., *Cell Transplant.*, 2008, 17(1-2):91-97
25. Noguchi H., Yamada Y., Okitsu T., Iwanaga Y., Nagata H., Kobayashi N., Hayashi S., Matsumoto S., Secretory Unit of Islet in Transplantation (SUIT) and Engrafted Islet Rate (EIR) indexes are useful for evaluating single islet transplantation., *Cell Transplant.*, 2008, 17(1-2):121-128
26. Miyamoto Y., Suzuki S., Takezawa T., Ikeya T., Hayashi S., Enosawa S., Improvement of Cryopreservation of Human and Rat Hepatocytes using Oligosaccharides and 3D Culture Matrix., *LOW TEMPERATURE MEDICINE*, 2008, 34(3):74-75
27. Takashima K., Nakashima H., Mukai T., Hayashi S., Scrub Nurse Robot for Laparoscopic Surgery., *Advanced Robotics*, 2008, 22(13-14) 1586-1601.
28. Ueda M., Matsumoto S., Hayashi S., Kobayashi N., Noguchi H., Cell surface heparan sulfate proteoglycans mediate the internalization of PDX-1 protein., *Cell Transplant.* 17(1-2)91-97 2008

【2007年】

29. Noguchi H., Nakai Y., Ueda M., Masui Y., Futaki S., Kobayashi N., Hayashi S., Matsumoto S., Activation of c-Jun NH(2)-terminal kinase (JNK) pathway during islet transplantation and prevention of islet graft loss by intraportal injection of JNK inhibitor., *Diabetologia.*, 2007, 50(3):612-619
30. Takashima K., Nakashima H., Mukai T., Hayashi S., Development of an assist robot for laparoscopiesurgery., *International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery*, 2007, 2(Supl.1):503
31. Noguchi H., Ueda M., Matsumoto S., Kobayashi N., Hayashi S., BETA2/NeuroD protein transduction requires cell surface heparan sulfate proteoglycans., *Hum Gene Ther.*, 2007, 18(1):10-17
32. Noguchi H., Ueda M., Hayashi S., Kobayashi N., Nagata H., Iwanaga Y., Okitsu T., Matsumoto S., Comparison of M-Kyoto solution and histidine-tryptophan-ketoglutarate solution with a trypsin inhibitor for pancreas preservation in islet transplantation., *Transplantation*, 84(5):655-658, 2007

【2006年】

33. Noguchi H., Xu G., Matsumoto S., Kaneto H., Kobayashi N., Bonner-Weir S., Hayashi S., Induction of Pancreatic Stem/Progenitor Cells into Insulin-Producing Cells by Adenoviral Mediated Gene Transfer Technology., *Cell Transplant.*, 2006, 15(10):929-938
34. 林 衆治, 臓器移植における拒絶反応の解析, 免疫実験法ハンドブック, 2006, 5, 183-184
35. 林 衆治, 臓器移植における免疫抑制療法, 免疫実験法ハンドブック, 2006, 5, 308-309

【科学研究費交付実績】

1. 平成22年度文部科学省科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「三次元脳神経組織体を用いたミニブレインデバイスの創成」2,900,000円, 2010-2,011年, 研究代表者: 宮本義孝
2. 平成21年度海外発表促進助成金 財団法人日本科学協会, 294,000円, 2009年, 研究代表者: 宮本義孝
3. 平成21年度赤崎記念研究奨励事業「新規磁性ナノ粒子による細胞移植イメージング: ナノバイオデバイスによるリスク評価」4,607,000円, 2009年, 研究代表者: 宮本義孝
4. JST地域イノベーション創出総合支援事業 重点地域研究開発推進プログラム 平成21年度シーズ発掘試験「新規磁性ナノ粒子による肝移植イメージング: 三次元培養による磁性粒子の安全評価系の確立」2,000,000円, 2009年, 研究代表者: 宮本義孝
5. 第2回名古屋大学学術振興基金 学術研究助成「空間制御法による三次元組織体の機能再構築」328,000円, 2008年, 研究代表者: 宮本義孝
6. 財団法人市原国際奨学財団第16回研究助成「慢性肝不全モデルマウスにおけるbasic fibroblast growth factor遺伝子を導入した骨髄細胞による肝再生機構の解明」500,000円, 2008年, 研究代表者: 林衆治
7. 名古屋大学学術奨励賞奨励金「膵幹細胞(膵非内分泌細胞に存在する体性幹細胞)を用いた膵再生療法の研究」300,000円, 2008年, 研究代表者: 大石幸一
8. 名古屋大学学術奨励賞奨励金「1. 脂肪組織由来幹細胞(Adipose tissue-derived Stem Cells: ASCs)を用いた肝不全マウスに対する肝再生療法の検討, 2. ASCsに対するセンダイウイルス(SeV)ベクターを用いた遺伝子導入法の検討とその機能発現, 3. 分子イメージングに向けた量子ドット(Quantum Dots: QDs)修飾したASCsの特性評価」300,000円, 2008年, 研究代表者: 湯川博
9. 文部省科学研究費補助金基盤研究(B)一般「ヒト膵島分離後の膵非内分泌組織からの膵幹細胞の同定と膵β細胞への分化誘導法の確立」14,700,000円, 2007-2008年, 研究代表者: 林衆治
10. 名古屋大学学術奨励賞奨励金「1. 脂肪組織由来幹細胞(Adipose tissue-derived Stem Cells: ASCs)を用いた肝不全マウスに対する肝再生療法の検討, 2. ASCsに対するセンダイウイルス(SeV)ベクターを用いた遺伝子導入法の検討とその機能発現, 3. 分子イメージングに向けた量子ドット(Quantum Dots: QDs)修飾したASCsの特性評価」300,000円, 2007年, 研究代表者: 湯川博
11. 財団法人那古野医学振興会研究奨励金「修飾体性幹細胞を用いた肝膵再生療法の研究」1,500,000円, 2006年, 研究代表者: 林衆治

[特許等知的財産]

1. アスカ株式会社(発明者:林 衆治、武満知彦、岩田 学、丸山秀尚)「手術支援ロボット」, 特願2004-316488(2004/10/29), 特開2006-122473(2006/5/18), 特許4437172(2010/3/24)日本国
2. 独立行政法人科学技術振興機構(発明者:生田幸士、池内真志)「任意の分布形状と分布密度を有する分子または粒子の集団を同時に多種大量生成する方法とその方法に使用するマスク材」共同研究, 特願2008-237696(2008/9/17), 特開2010-68728(2010/4/2)日本国
3. 名糖産業株式会社、国立大学法人名古屋大学(発明者:齋藤弘明、村瀬勝俊、内田照久、林 衆治、野口洋文)「カチオン性多糖 磁性粒子複合体」, 特願2008-192195(2007/7/25), 特開2010-30915(2010/2/12)日本国
4. 国立大学法人名古屋大学(発明者:林 衆治、湯川 博)「脂肪組織由来幹細胞を用いた組織再生用組成物」, 特願2007-161599(2007/6/19), 特開2009-1509(2009/1/8)日本国
5. 独立行政法人理化学研究所、国立大学法人名古屋大学(発明者:高嶋一登、向井利春、中島弘道、林 衆治)「手術支援装置」, 特願2007-155631(2007/6/12), 特開2008-307127(2008/12/25)日本国
6. アスカ株式会社、美和医療電機株式会社、株式会社中日電子(発明者:林 衆治、武満知彦、岩田 学、丸山秀尚)「手術支援方法及びこれを実施する手術支援ロボット」, 特願2004-316488(2004/10/29), 特開2006-122473(2006/5/18)日本国
7. 株式会社ディナベック研究所(発明者:林 衆治、井上 誠、長谷川護)「標的細胞への遺伝子の導入方法」, 特願2004-107623(2004/3/31), 特開2007-228802(2007/9/13)日本国

[新聞記事掲載]

1. 2007年10月10日 日刊工業新聞 「“看護師ロボ”開発」
2. 2007年10月10日 日経産業新聞 「手助けロボ開発」
3. 2007年10月11日 フジサンケイビジネスアイ 「内視鏡手術に助手ロボ」
4. 2007年10月12日 毎日新聞 「ロボの手も借りたい」
5. 2007年10月19日 科学新聞 「内視鏡手術に必要な鉗子受け渡しロボット開発」Design News Japan
「理研など3社、内視鏡手術で器具を術者に受け渡すロボットを開発」

[記者発表]

2007年10月9日 内視鏡手術に必須の器具を術者へ受け渡すロボットを開発ー世界的に進行している看護師不足の問題を解消する新ツールにー
独立行政法人理化学研究所、名古屋大学医学部先端医療バイオロボティクス学寄附講座、NTTDコモ東海

[報道]

2007年10月29日 NHK総合ほっとイブニング 内視鏡手術に必須の器具を術者へ受け渡すロボットを開発ー世界的に進行している看護師不足の問題を解消する新ツールにー
独立行政法人理化学研究所、名古屋大学医学部先端医療バイオロボティクス学寄附講座、NTTDコモ東海